

桜中だより

長崎市立
桜馬場中学校
校長 大塚 潤

五感を意識して生活する2学期

フツフツと秋にしよう

皆さんは、夏休みにどのような体験をしましたか。プレミアムな夏になりましたか。ずっと、スマホやPCでネットを見てばかりだった人はいませんかよ。

今号は、五感を使うことの大切さについて皆さんに伝えたいと思います。

五感という言葉「味覚」「嗅覚」「視覚」「聴覚」「触覚」といわれる5つの感覚のことですが、みなさんはどれくらいこの五感を意識して生活していますか。

ラ研究者の山際壽一氏は著書『スマホを捨てたい子供たち』（ポプラ新書）に、「信頼関係をつくるのは言葉ではありません。言葉は代替物であって、信頼関係へのリアルな架け橋になるのは、それ以外の五感の中、正しくは



オケ部、新大工夏祭りで地域を盛り上げる演奏

五感を感じられる体の中にあります。フェイスブックやライン、X(旧ツイッター)を駆使して、どこかで他人とつながろうとする。でも、身体をつながらなくして、本当につながることができません。本当に信頼できる人とのつながりをつくるには、時間と空間を共有し、五感を使った付き合いをする必要があります」と書かれています。友達と仲良くなるには、言葉だけでなく、五感を使った付き合いも大切だということです。

また、学習においても五感は大事です。東京大学名誉教授の佐藤一子氏は、「五感力は、生涯学習の基礎・基本」ともいわれています。これは、皆さんが学習するときに必要な学習意欲・学びに向かう力であるとか、考える力が「非認知能力」といわれる学力を育てるのに、五感を使うことが必要であると考えられるからです。

五感を使うというのは、そんなに難しいことではありません。みなさんも普段から使っています。それをちよつと意識してみると、また違ったことに気づくこともあるでしょう。例えば、登下校時には、どんな音があり、どんな匂いがあるのか、そんなことを意識しながら歩いてみるのはどうでしょう。花の匂いや鳥のさえずりから季節を感じることもあります。工事の音から、危険な場所に気づくこともあるでしょう。そんなふうには五感を意識して使うことを繰り返すと、きっと皆さんの学習や友達との関係も変わってきます。スマホやPCを頼りにするばかりでなく、自分の感覚をもつと研ぎ澄まして活用する2学期にしましょう。

3年生の皆さんへ

3年生の2学期というと、うっかりすれば一人一人が自分の殻に閉じこもりがちになります。しかし、考えてみれば、誰だって、自分の進路に悩んだり、不安に陥ったりするのがこの2学期。それなら不安や悩みをオープンにして、みんなと手をつないでほしいと思います。1学期以上に友や先生との語らいの時間を増やし、「ミニニケーションの機会をどんどんつくりたいきましょう。まずは合唱コンクールへ全力投球。先生方は、138名の応援者であるからこそ、粘り強く、とことん関わっていきます。一人一人の存在を大切に、寄つてたかって職員全員で協働的に関わっていきます。

2年生の皆さんへ

2学期は、合唱コンクール・修学旅行と学校行事が続きます。一つ一つの行事や諸活動(当番活動・生徒会活動)に積極的に参加していく中で、クラスのとが深まり、「かけがえのない」良き思い出がくれるのだと思います。日常の学校生活を大切に、考えて行動する力、**考動力**を育てます。そして、行事を通して、**協働的な姿勢**や思いやりの心を育てます。爽やかな秋にかさわしい2学期にしよう。

1年生の皆さんへ

1学期は、新しい生活に慣れるのに大変だったことと思いますが、本当によく頑張りましたね。2学期は、精神面の成長を促すために、学校行事や総合的な学習の時間、学年集会などで、**協働的な取組**を活用し、グループや学級、学年のつながりを深めます。学習面では、日常の予習と復習に力を入れます。特に9月末のスピーキングコンテストへの取組を強化。1学期の学校生活を通してつかんだ体験を生かすと共に、学年や学級で協力して取り組み、喜びや楽しみ、そして達成感を感じ取ってほしいと思います。

2学期の抱負

3年生としての1年間も、後半に差し掛かる2学期が始まりました。皆さんは1学期の反省を生かし、行いたいことや目標などを実行できていますか？私は、この夏は勉強に励み、自分の行きたい高校や将来に向けて努力することができたと思っています。



片山生徒会長、中学生議会に参加、堂々の発言

1 学期を振り返ると、学年全体で最後の中総体や大運動会などを通して最高学年としての意識が高まり、大運動会では、団長や応援団が中心となり、各群が全力を出し切ることができ、最高の大運動会にすることができました。しかし、課題もありません。

1 つ目は、学校生活の中でメリハリが付いていないときがあったことです。無言移動ができていなかったり、授業中に私語が見られたりすることがありました。これらを解決していくために、みんなで声をかけあい、雰囲気を高めていきたいです。

2 つ目は、遅刻や欠席が多いことです。遅刻欠席は私達3年生にとって去年からの課題です。遅刻欠席を減らすためには、友達に優しい声をかけるなど、誰もが学校に気安い雰囲気を作り、一人一人の意識を高めていきたいと思えます。

また、2 学期は合唱コンクールがあります。3 年生になると、歌・指揮・伴奏、全てが難しくなります。大運動会で学んだことを活かして、最後の合唱コンクールを悔いなく終われるよう、最優秀賞目指して各クラスの合唱コンクール実行委員が中心となり、団結し、全力を出し切りたいです。

しかし、行事だけでなく、日常の学校生活や勉強にも一生懸命取り組んでいきたいと思えます。特に学習面では、受験に向けて、一人一人が志望校合格を目標として、日々の予習復習や、分からないところを友達や先生に聞きに行き理解を高め、授業での発表もこれまでに以上積極的に取り組んでいきたいです。

これからも、321 運動や挨拶など**当たり前**のことを徹底し、学ぶ雰囲気や温かい雰囲気を高め、最高学年として1 2 年生の二本となれるように頑張っていきたいと思います。

ABCDの法則

- A 当たり前のことを
- B ばかにしないで
- C ちゃんとする人が
- D できる人になる

◎桜中生として求められている当たり前のこと、それを実践する77日間にしよう。

◎一人一人が当たり前の意識を高め、当たり前のレベルを上げること、自分の当たり前を見つめ直し、改善することで、中身の濃い2学期にしよう。

朝の挨拶

菅原克己

さわやかな目覚めに
わが家に
朝日がさしてしているのを見た。
それから
妻が野菜を切っている音を聞いた。
僕はささいなことが好きだ。
くらしのなかで
詩が不意打ちのように
やってくるというはほんとうだ。
もうじき
風につけて
とぎれとぎれに聞こえてくる
丘の上の中学校の
いつものオルガンの挨拶でええ……。

私も「ささいなことが好き」です。この詩に出会ってますます好きになりました。皆さんにも「静かな不意打ちのように」詩が届きますように……

部活動の下校時刻が変わりました。

9/1~10/31の期間は、

18時30分が完全下校となります。

ペットボトルキャップ回収 集計結果

1 年	1 位	3 組	6.2Kg	■合計■ 67.8Kg
	2 位	2 組	3.4Kg	
	3 位	1 組	3.2Kg	
	4 位	4 組	2.3Kg	
2 年	1 位	2 組	13.5Kg	■群別■ 1 位 青群 23.9Kg 2 位 黄群 19.9Kg 3 位 赤群 13.6Kg 4 位 緑群 10.4Kg
	2 位	1 組	9.1Kg	
	3 位	3 組	6.3Kg	
	4 位	4 組	4.5Kg	
	※2-2, すごいですね。			
3 年	1 位	3 組	7.4Kg	
	2 位	2 組	7.0Kg	
	3 位	4 組	3.6Kg	
	4 位	1 組	1.4Kg	